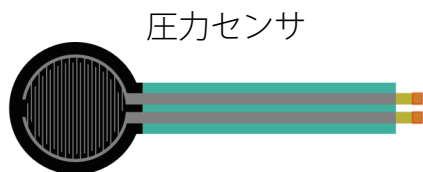
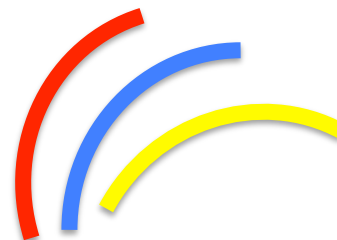


はんだ付け

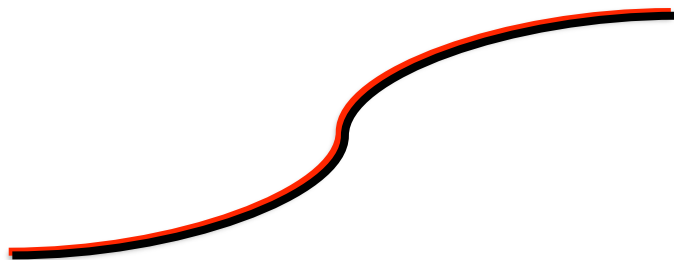
圧力センサにケーブルをはんだ付けし、使いやすくします。
使用する部品は以下の4点です。



圧力センサ



熱収縮チューブ



ケーブル



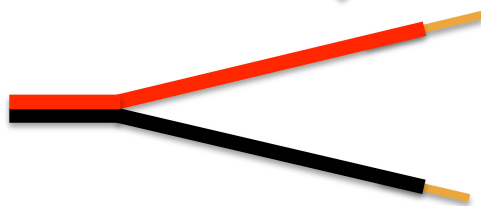
ピン

はんだ付けの下準備

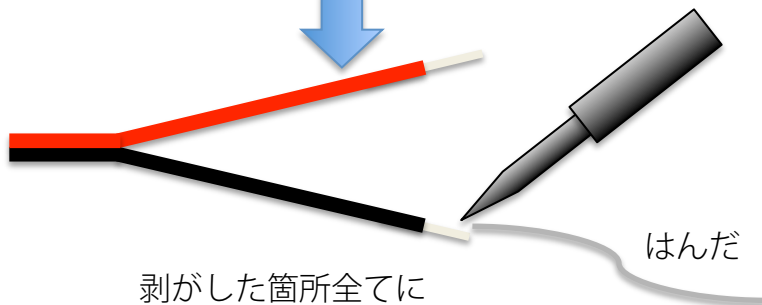
ケーブルを加工し、部品同士の接着の前に前もって接着箇所にはんだを染み込ませておきます。これを「予備はんだ」といいます。



ケーブル両端を5～10cmほど割きます



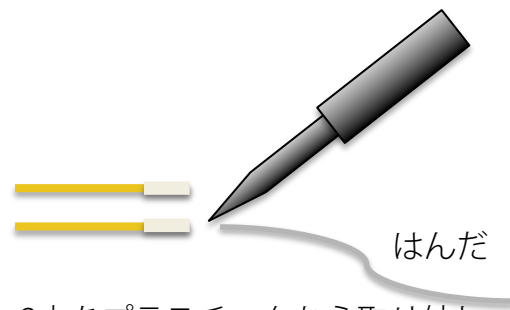
両端及び赤・黒共に5mm～1cmほど
ビニール皮膜を剥がし、振ります



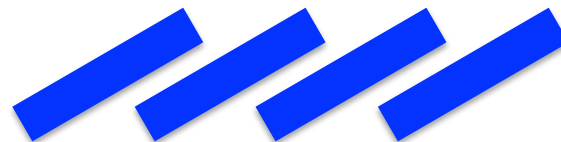
剥がした箇所全てに
「はんだ」を染み込ませます。



圧力センサの足に「はんだ」を
盛りつけます。



ピン2本をプラスチックから取り外し、
の片側に「はんだ」を盛りつけます。

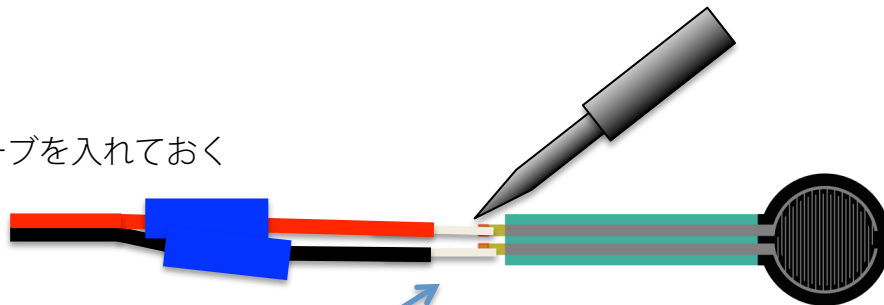


熱収縮チューブを
2cmほどに4本切断します。

部品同士のはんだ付け

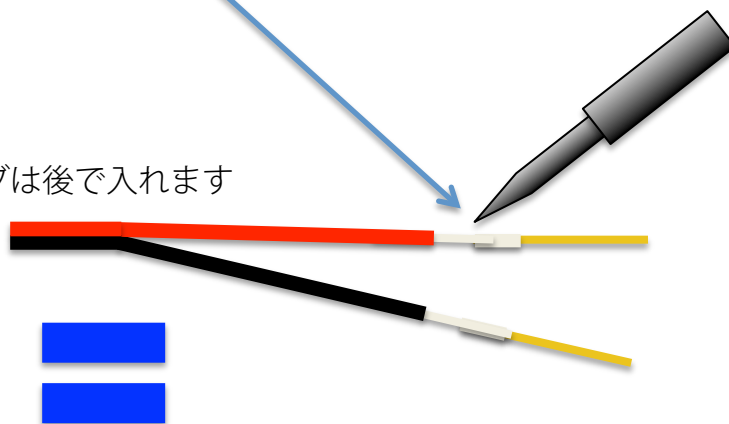
部品同士を重ね「予備はんだ」を溶かして部品を接着します。

予め熱収縮チューブを入れておく



部品に染み込ませてある
はんだを溶かして接着します。

熱収縮チューブは後で入れます



はんだ付け部の保護(シヨートの防止)

はんだ付け部分に熱収縮チューブを取り付け、
熱を与えて収縮させます。

はんだ付け箇所にチューブを取り付け
はんだごての熱で収縮させます。

